



# フラッシュライトユーザーマニュアル



## DF-400

製品をご使用いただきありがとうございます。  
当社製品を正しくお使いいただけるために、操作の前にユーザシートを完全にお読みください。

### ■ 安全のために

製品を使用する前に、以下の安全上の注意を注意深く徹底的に読んで、製品の損傷や身体や他人への危害を防ぐために、安全で確実に正しく動作させるようにしてください。

⚠ この記号が付いている指示を無視すると、けがや死亡や物的損害が発生する可能性があります。

- ・爆発性ガスの可燃性のある場所では使用しないでください。プロパン、ガソリン、ほこりなどの可燃性ガスが発生する場所ではフラッシュを使用しないでください。
- ・フラッシュライトを分解、修理しないでください。感電の原因となり、傷害を引き起こす可能性があります。
- ・フラッシュ発光部を覆うように手を置かないでください。フラッシュが連続した発光部に触れないようにしてください。また、熱や煙が出てきたり、燃え尽きた場合は直ちに動作を停止してください。バッテリーを取り外し、販売店またはサービスセンターに連絡してください。
- ・一時的に運転者の視界を損なう可能性があり、事故の原因となる可能性があるため、移動中の車の運転手に直接フラッシュを発射しないでください。
- ・目の網膜に損傷を与える可能性があるため、近い距離にいる人の目にフラッシュユニットを直接発射しないでください。1メートルの距離のフラッシュで子供に失明の原因となることがあります。
- ・ユーザーズマニュアルに記載されている電池のみを使用してください。
- ・異なるタイプ、ブランド、古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。電池が腐食性液体を漏らしたり、爆発したり、火災に遭う可能性があります。
- ・煙、異常臭、異常音などの異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、火災や火傷の原因となることを防止してください。
- ・電池を取り出し、焼損しないように注意し、販売店または修理センターに連絡してください。
- ・濡れた手で本製品を操作しないでください。故障の原因となり、電気ショックを起こすことがあります。

### 1.特徴

- ・ユニバーサル低圧トリガーフラッシュ、およびS1、S2ワイヤレストリガーフラッシュ。
- ・フラッシュの輝度制御をサポートします。
- ・高感度のワイヤレスセンサーにより、カメラは遠方の距離でフラッシュをトリガーすることができます。
- ・標準的なCanon外部電源ソケットは、迅速な要求に役立ちます。
- ・標準化されたPC同期ポート（入力）。
- ・充電リサイクルの超高速。フルレベル出力後に充電サイクルをフラッシュするのに3秒かかります。
- ・自動保存機能は、現在の設定をフラッシュライトに保存します。

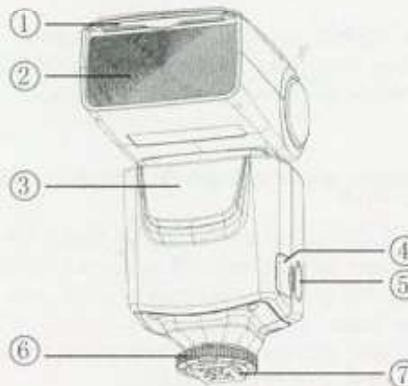
### 2.対応機種

- |  |  |
|--|--|
| ・ Canon EOS and Power shot series digital camera | ・ RICOH DSLR                               |
| ・ Nikon DSLR                                     | ・ Olympus Four Thirds digital camera       |
|  | ・ Olympus Micro Four Thirds digital camera |

- Nikon Coolpix series digital camera with hot shoe
- Fujifilm DSLR
- Pentax DSLR
- Samsung DSLR

- Panasonic Four Thirds digital camera
- Panasonic Micro Four Thirds digital camera

### 3. フラッシュライト各部名称表示



1. 内蔵ワイドパネル
2. フラッシュヘッド
3. 無線センサ
4. ソケットカバー
5. PCソケット
6. ロックリング
7. ホットシュースタンド



8. モード選択指示 (M、S1、S2)
9. バッテリーカバー
10. 充電インジケータ
11. 発光テストボタン
12. モード選択ボタン
13. 発光レベルインジケータ
14. 発光レベル調整ボタン <->
15. 発光レベル調整ボタン <+>
16. 電源スイッチ (ON-OFF)
17. ミニスタンド

### 4. 取り付け方法

#### 1. バッテリーを取り付ける



#### バッテリーカバーを開く

バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

#### バッテリーを挿入する

バッテリーをバッテリー室内のラベルに従って差し込んでください。極性が正しいことを確認してください。

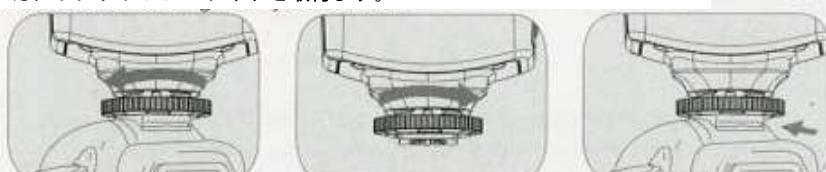
#### バッテリーカバーを閉じる

バッテリー室カバーを矢印の方向に閉じます。

#### △ 注意：

- ・単3形乾電池4本を使用していますが、短絡の危険があるために表面が壊れた電池は使用できません。
- ・電池を交換する場合は、同時に4つの電池を交換してください。
- ・長時間、フラッシュライトを使用しない場合は、必ずバッテリーを取り出してください。

#### 2. カメラにフラッシュライトを取り付ます。



#### ロックリングを緩めます

矢印ロックリングの向きに合わせて緩めます。

#### カメラにフラッシュを取り付けます

フラッシュホットシュースタンドをカメラのホットシュースタンドに止まるまで差し込みます。

#### ロックリングを締めてください

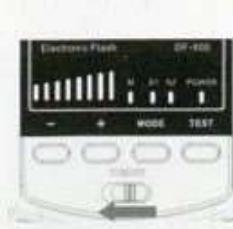
ロックリングを矢印の方向に締めます（フラッシュライトを取り外すには、ロックリングを反対方向に回すことでロックリングを緩めます）

#### △ 注意：フラッシュを取り付け、取り外す場合は前もって必ずフラッシュをオフにしてください。

### 5. フラッシュ操作

#### 1. 電源スイッチをONにします。

- 電源スイッチを「ON」に設定すると、全インジケータが一度点灯し、フラッシュが充電を開始し、電源ランプが緑色に点灯します。
- フラッシュ充電が完了し、電源インジケータランプが赤くなり、撮影を開始します。
- フラッシュをテストする場合はテストボタンを押してください。
- フラッシュをオフにする必要がある場合は、スイッチを<OFF>に設定してください。



**⚠️ 注意：** フラッシュを長時間使用しない場合は、電源スイッチを<OFF>の状態にして、バッテリーを取り外す必要があります。

## 2.フラッシュ輝度出力制御

- フラッシュには8つのフラッシュ出力光強度があり、8つのインジケータランプは同時に点灯しません。インジケータランプのうちの明るい1つだけが現在のフラッシュ強度になります。
- <+>ボタンと<->ボタンによるフラッシュ出力は、<+>および<->ボタンを押すことにより設定します。

1/128--1/64--1/32--1/16--1/8--1/4--1/2--1/1 (フル電力出力)。

## 3.Mモード

このモードでは、自分の好みのフラッシュの明るさに合わせることができます。撮影するときは、フラッシュライトを設定し、シャッターを押してカメラを調整するだけで、フラッシュライトがカメラの同期信号下で点滅します

## 4.S1モード

このモードでは、DF-400はメインフラッシュフラッシュと同期して最初にフラッシュし、エフェクトを使用して無線フラッシュトリガーを使用します。ノーマルを使用するには、メインフラッシュを手動フラッシュに設定し、フラッシュTTLフラッシュシステムを使用すべきではありません。また、赤目軽減機能を繰り返し点滅させて使用しないでください。

## 5.S2モード

S2モードは「フラッシュキャンセルモード」としても知られています。このモードはS1モードに似ていますが、TTLフラッシュを無視できるため、TTLモードで動作している主要なスピードライトをサポートすることができます。特に、S1モードで内蔵フラッシュフラッシュを同期させることができない場合は、S2モードを使用を試みることができます。

### ⚠️ 注意：

- S1、S2モードの使用はフラッシュランプホルダ、マスタランプのセンサを回転させる必要があります。
- S1、S2のモードを使用すると、以下の状態を避けることができます。
  - ランプは赤目軽減機能として使用することができる。
  - ランプ使用指示モード (Nikon) またはワイヤレスモード (Canon) を推奨する。

## 6.自動保存機能

各操作のフラッシュ、それは自動的に現在の設定を保存します。

## 7.PC同期ポート入力

フラッシュは、接続しているマシンからフラッシュを接続するために同期ポートが使用されます。フラッシュはマシンから離れることがあります。PCの同期フラッシュにのみ注意してください。同期信号入力インターフェイスを受け入れる、同期信号出力をサポートしていません。

## 8.外部電源ボックス

フラッシュはCanon標準の外部電源ソケットを持っています。Canon製の電源ボックスを使用することができます。他のメーカーも使用できます。

## 9.省電力機能

- フラッシュライトは、バッテリーの電力を節約するために自動スリープ機能を持っています。バッテリーの有効時間を延長します。
- 休眠状態に入ると、電源インジケータランプを除くすべてのインジケータランプが消灯します。電源ランプが緑色に点滅し、0.5秒間隔で点灯します。
- Mモードでは、フラッシュライトが5分間アイドル状態になると休眠状態になります。<TEST>ボタンを押すか、開いているカメラがフラッシュを覚醒させることができます。
- S1/S2モードでは、40分後にフラッシュライトがアイドルになり休眠状態になります。<TEST>ボタンを押すか、カメラを開くか、外部フラッシュがフラッシュを起動させることができます。

## 10.保護機能

- DF-400の過熱を防止するため、最大連続フラッシュ回数を超えた場合は、冷却のために少なくとも10分間待ちます。

最大連続フラッシュ時間	
発光出力レベル	連続発光回数
1/1, 1/2	20
1/4, 1/8	40
1/16, 1/32	80
1/64, 1/128	160

### ⚠️ 注意：

- 連続フラッシュ撮影の後では、バッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリー交換の際に火傷されないように注意してください。

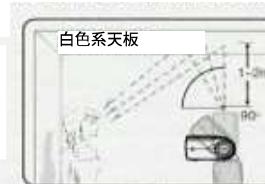
- ・バッテリー保護。30秒以上の応答時間が経過すると、フラッシュは充電を停止し、POWERインジケータランプは赤と緑の交互に0.5秒間隔で点滅します。バッテリーを交換する必要があります。

## 6.高度なアプリケーション

### 1.反射フラッシュ

撮影時に直接フラッシュの使用では、体に強い光が当たる、時には体の輪郭に強い投影が発生します。反射光は、天井や壁に反射し、周辺から反射された後のフラッシュの光は、閃光を鈍らせることができ、陰によって引き起こされる光の差が減少する。

- ・反射光、メトロープ、天井反射をホワイトの表面が滑らかなものにすることは、内蔵の広角拡散とリフレクタを使用することが最善です。



### 2.キャッチライトパネルと広角ディフューザボードの使用

マクロ撮影、撮影、近距離では、ソフトストロボの照明や光を演出する必要があり、ランプホルダーはDF-400内蔵の広角拡散と反射板を使用できます。

- ・近距離で被写体（2メートル）、フラッシュランプホルダーが90°上になると、いつものように白いリフレクターが引き出され、反射フラッシュが自然になることがあります。
- ・ポートレート撮影では、広角ディフューザーを使用するために引き出すこともできます。広角ディフューザーは、光を柔らかくすることができ、自然なフラッシュ効果を得ることができ、広角ディフューザーは、ランプの照明の広がりを増加させることができます。

## 7.障害を取り除く

### 1.フラッシュがオンにならない

バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。

### 2.各フラッシュの後、再びフラッシュするまでの時間が長くなった。

電池切れです。もし充電するたびに30秒以上かかっている場合は新しいバッテリーに交換します。

### 3.カメラにフラッシュが認識されません。

フラッシュの電気接点がカメラのホットシューと接触していることを確認してフラッシュを再取付して下さい。電気接点を清掃する必要があります。

### 4.無線リモコンが作動しません。

フラッシュがS1またはS2モードになっていることを確認して、ライトを確認し、ライトシェードの間に障害物を置かないでください。ワイヤレス感知器の近くに光を阻害するギラツキ光がないことを確認します。

## 8.仕様

電子構造	絶縁ゲートダブルクリック：自動トランジスタ (IGBT)
ガイドナンバー	33 (ISO 100 / 1M)
電力源	単3形乾電池×4本 (アルカリ電池使用)
電池寿命	110~1500回 (単3形アルカリ乾電池使用)
リサイクル時間	3秒
フラッシュモード	M、S1、S2
色温度	5800K
フラッシュ時間	1/200秒~1/20000秒
フラッシュ制御	8種類の輝度制御 (1/128~1/1)
大きさ	190×75×55mm
正味重量	315g
付属品	フラッシュライト(1)、保護袋(1)、ミニスタンド(1)、取扱説明書(1)

この取扱い説明書は作者が個人的に使用する目的で翻訳作成しています。  
他者が記載されている内容を参考として個人的に利用することは拒みません。  
但し、営利目的での利用はご遠慮ください。

尚、記載されている内容に関しての間違い等が起因した不具合について一切の責任は負いません。

間違い、ニュアンスの違い等があればメールでお知らせください。  
修正改定いたします。

メールアドレス info@dijiitizizi.com

2018年6月17日 初版発行 デジイチ爺